

## 当院で子宮頸がんに対し放射線治療をお受けになった皆様へ

### ～「高齢者子宮頸癌患者に対する放射線治療後の予後解析」に関する情報～

遠隔転移のない子宮頸がんの治療では、放射線治療が重要な役割を担っています。現在、日本では高齢化が進んでおりますが、高齢者子宮頸がん患者さんに対する放射線治療の有効性（どのくらいよく治せたか）や、副作用（治療後に出てきた困った症状）の解析は十分には行われておりません。また、医療技術の進歩により、子宮頸がんの放射線治療も急速に進歩しました。「画像誘導小線源治療」と言われる最新の治療方法が、従来の治療方法と比べて、患者さんにどのくらいお役に立てていたかについて、詳しく調べる必要性があります。

この研究は、子宮頸癌患者に対する放射線治療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」により、対象となる患者さんのお一人ずつに直接説明を行い、同意を得る代わりに、研究内容の情報を公開することが必要とされております。

〔研究課題名〕 高齢者子宮頸癌患者に対する放射線治療後の予後解析

〔研究機関〕 放射線医学総合研究所 病院

〔研究責任者〕 小此木 範之

〔研究の目的〕 当院における高齢者子宮頸癌放射線治療患者の治療成績・有害事象を明らかにすること。

〔研究の方法〕

#### ●対象となる方々

2001年1月から2015年12月までに、当院で子宮頸がんに対して放射線治療（重粒子線治療ではない）をお受けになった、治療開始時点で満70歳以上であった方。

#### ●利用する情報

上記対象者の、年齢、治療する前の御病状、放射線治療の内容、治療後の経過。

2016年3月31日までに得られたデータを集計しますので、新たな質問や検査はありません。

〔個人情報の取り扱い〕 お名前や個人情報が出ることは、一切ありません。

この研究では、患者さんの個人情報（氏名、住所など）は使用しません。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定出来る個人情報は利用しません。

#### ●患者さんへのお願い。

上記の研究にご自分の放射線治療に関するデータを使用して欲しくない方、またはそのご家族の方は、2016年6月30日までにお申し出ください。この調査へのご自分のデータの使用をお断りされても、不利益を受けることは全くありません。ご自分の自由な意思でお断りいただけますので、その場合は、下記連絡先までご連絡下さい。

問い合わせ・苦情等の相談窓口（連絡先）：

千葉県千葉市稲毛区穴川 4-9-1

量子科学技術研究開発機構 放射線医学総合研究所 信頼性保証・監査室

電話；043-206-4709（平日；8：30～17：15）